

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券  
購入時の取得価額によっている（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため、適用していない）。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
① 賞与引当金  
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
② 退職給付引当金  
職員の退職給付の支給に備えるため、期末要支給額に相当する額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,040,000	0	0	100,040,000
定期預金	5,000,000	0		5,000,000
小計	105,040,000	0	0	105,040,000
特定資産				
美術品	1,500,000	0	0	1,500,000
退職給付引当資産	51,848,368	5,343,090	0	57,191,458
小計	53,348,368	5,343,090	0	58,691,458
合計	158,388,368	5,343,090	0	163,731,458

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	100,040,000	100,000,000	40,000	0
定期預金	5,000,000	5,000,000	0	0
小計	105,040,000	105,000,000	40,000	0
特定資産				
美術品	1,500,000	0	1,500,000	0
退職給付引当資産	57,191,458	0	0	57,191,458
小計	58,691,458	0	1,500,000	57,191,458
合計	163,731,458	105,000,000	1,540,000	57,191,458

### 4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	時価	評価損益
第128回利付国債	50,090,000	61,235,000	11,145,000
第135回利付国債	49,950,000	60,195,000	10,245,000
合計	100,040,000	121,430,000	21,390,000

### 5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,176,159	2,623,459	552,700